

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 平野部に位置し、水田作を中心とした営農が行われている地域
- 基盤整備済みの大区画圃場が多く、中心経営体への利用集積が進んでいる地区

【支援内容・背景】

- 集団的な農用地の保全のため、地域の中心経営体の低コスト化や作業効率化の取組を支援し、継続的な営農活動を維持することが必要。
- 助成対象者は水稻をはじめ麦類及び大豆での農業を営んでいる地域の中心経営体。今後、経営面積の拡大を図り、地域の農地を担う大規模経営体のモデルとして育成・支援。



助成対象者「株式会社A」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成16年 先代より経営移譲
- 平成16年 経営改善計画の認定
- 平成31年 法人化(株式会社)

《事業活用の背景》

- 経営面積拡大を進めるためには、機械の高性能化による作業の効率化が必要。
- 作業の効率化と単収の向上に向け、高性能の収量センサー付きコンバインと乾燥機、バックホーを導入。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

○売上高 91百万円
○経営面積 102 ha

《事業による整備内容》

- コンバイン 1台
事業費 18,150千円
(国費 4,950千円)
- 乾燥機 1台
事業費 2,860千円
(国費 780千円)
- バックホー 1台
事業費 3,850千円
(国費 1,050千円)

【現在の経営状況】
〈R6年度〉

○売上高 168百万円 (185%)
○経営面積 114 ha (112%)

事業の効果

《対象者》 経営面積の拡大、水稻単収の向上が実現し、売上高が大幅に増加した。

《地区》 地域の中心経営体への農地集積が実現し、継続的な営農活動の維持に寄与した。